

要請番号 (JL54823B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タンザニア	D235 自動車整備	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育科学技術省

2) 配属機関名（日本語）

職業訓練公団ムワンザ職業訓練センター

3) 任地（ムワンザ州ムワンザ市） JICA事務所の所在地（ダルエスサラーム市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

職業訓練公団(VETA: Vocational Education and Training Authority)はタンザニア国内に34の職業訓練校(センター)を有しており、配属先はその一校である。タンザニア第3の都市ムワンザ市に位置しており、2003年に設立された。自動車整備、電気設備など11種類の職業訓練コースを長期、短期で実施している。生徒数は長期コースが約500名在籍しており、講師を含めたスタッフ数は約30名である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

国内の8割以上を日本車が占めている当国において、日本車の車両整備に自動車整備士の需要は高い。このため、優秀な整備士の育成が必要とされており、職業訓練校への期待は高い。しかしながら、電子制御システム等、近年の日本車整備に関する知識、経験を持ち、指導が可能な講師が不足しているのが現状である。配属先では過去に2名のJICA海外協力隊員が派遣されたが、その活動に対する評価は高く、今般、要請が提出された。隊員は同僚講師と共に、JICAの支援により導入された実習車両を用いて、理論と実践の授業を行っていたが、引き続き、同様の活動が求められている。また、配属先の自動車運転免許取得コースの教習車の保守点検修理、外部からの自動車修理依頼業務への助言も期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

同僚講師と協力しながら、以下の活動に取り組む。

- 学生を対象に、理論と実技の授業を行い、自動車整備に関する知識と技術の定着に取り組む。
- 同僚講師を対象に、授業や実習運営に関する助言、整備技術経験・情報を共有するなど、能力向上に取り組む。
- 5Sの視点で、実習施設、機材管理に関して助言を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習用車両(トヨタマークII)、ピット、エアコンプレッサー、サーキットテスト、工具セット、エンジンジャッキ等

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長:40代、男性

自動車整備課講師:1名、経験25年以上、50代、男性
自動車整備課生徒:40名、18歳以上、中学校卒業程度

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	スワヒリ語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(2級ガソリン・ディーゼル自動車整備士以上)	[学歴]：(専門学校卒)	備考：講師として活動するため
[性別]：()	備考：	[経験]：(実務経験) 3年以上
		備考：経験に基づく知識が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候)	気温：(15～30℃位)	[電気]：(安定)
[通信]：(インターネット可)	電話可)	[水道]：(安定)

【特記事項】

タンザニア赴任後の研修でスワヒリ語を学習する予定。